

松浦武四郎の生涯

～北海道を中心として～

- ◇講師 高木 崇世芝 氏 (たかぎ たかよし)
◇日時 平成28年10月12日(水) 午後2時～4時
◇会場 かでる2・7ビル7階 710会議室 (札幌市中央区北2条西7丁目)

《要旨》

松浦武四郎は探検家として知られるが、『蝦夷日誌』という大著を著わし、この著作を契機に幕府の雇いとなった後は、さらに全道一円を詳細に調査し、膨大な報告書を提出した。それに伴って関わる著作も多数著わした。明治を迎えると開拓判官に任命され、蝦夷地の改名と国郡名の選定を命じられた。視点を武四郎と北海道の関わりに重点を置き、資料にもとづいて波乱に満ちた生涯を話してみたい。

《プロフィール》

- ・昭和13年2月 八雲町黒石 生まれ
金沢美術工芸大学卒業
教職に従事
- ・平成10年3月 定年退職
- ・平成11年3月 札幌市内転住、現在に至る

《主な著書》 『森町史』 (共著)

『森町の歴史散歩』 (共著)

『松浦武四郎関係文献目録』

『松浦武四郎「刊行本」書誌』、『北海道の古地図』、『近世日本の北方図研究』 他

(千島一覽)

《主な所属》 北海道文化財保護協会、北海道史研究協議会、松浦武四郎研究会、伊能忠敬研究会

受講料 700円 (保護協会会員500円)

申込方法 電話・FAX・メールで事前申込が必要、定員90名 (定員になり次第締切)

申込先 北海道文化財保護協会事務局 電話・FAX 011-271-4220
Eメール bunho@abelia.ocn.ne.jp

主催 北海道文化財保護協会



『千島一覽』 松浦武四郎 明治3年 37×75cm (3枚組)